

ウォールボックスのボルトもみ取り中 ケーシングが脱落し 背中に激突した

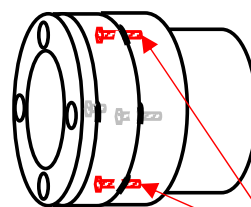
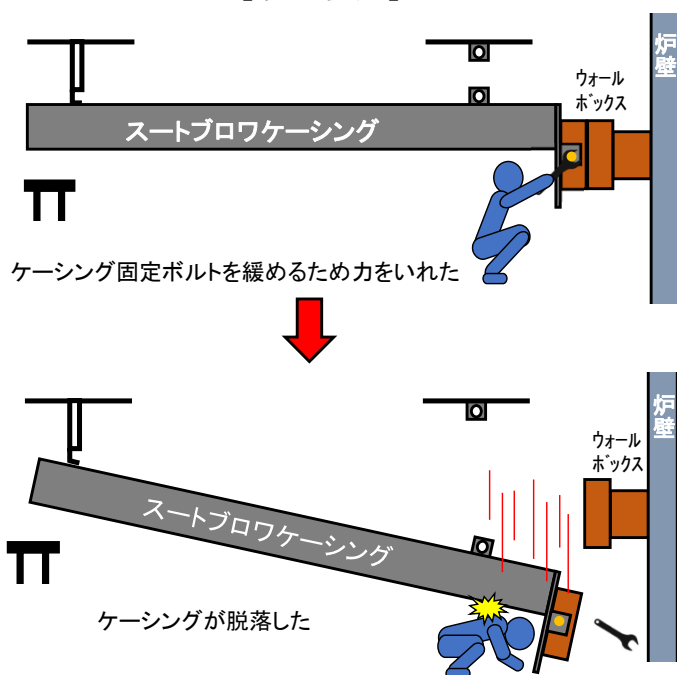
【発生状況】

スーツブローウォールボックスのボルトもみ取り作業中、邪魔になっていたケーシングを切り離そうとして ケーシング固定ボルトを緩めようとした。

ケーシング固定ボルトにスパナをかけ 力を加えた際、ウォールボックスのボルトが破断しケーシングが脱落して 背中に激突した。

※ウォールボックスのボルトは4本中 2本が修理対象となっており、これをもみ取る予定であったが、他の2本もすでに破断していたと思われる。

【発生状況】



もみとり予定のボルト(破断状態)
※残った2本も破断寸前だった



【原因・問題点】

- ①スーツブローのケーシング固定ボルトを外そうとしたにも関わらず、チェンブロックで吊る等の安全対策をとっていなかった。
- ②外観から健全だと思っていたウォールボックスのボルトが 既に破断状態であった。
- ③計画ではケーシングを外さず作業する予定であったが、作業方法を変更した。

【対策】

- ①脱落や落下の可能性があるものに対しては、脱落・落下防止措置を確実に実施する。
- ②外部から健全性が確認できない部分でも、「かもしれない」の危険予知と対策を行う・
- ③計画された作業方法から変更が生じた場合は、再度KYやリスクの洗い出しを行う。